

キャド・キャム株式会社 殿

令和6年9月21日

出羽庄内国際村改修工事に係る
石綿含有建材事前調査結果報告書

株式会社理研分析センター



目次

1. 事前調査の概要	1
2. 事前調査の結果	3
3. 石綿含有建材の施工状況	4
4. 対象建築物の周辺図	8
5. 石綿（アスベスト）の関係法規について	9
6. 石綿含有建材の分類について	11

添付資料 1. 石綿分析試験結果報告書

添付資料 2. 建材の施工状況

添付資料 3. 国土交通省 経済産業省 石綿（アスベスト）含有建材データベース
アスベスト非含有建材

添付資料 4. 吉野石膏株式会社 当社におけるアスベスト（石綿）含有商品について

添付資料 5. 石綿(アスベスト)含有建材の特徴

添付資料 6. 調査者資格証及び分析者資格証

1. 事前調査の概要

(1) 事前調査の目的

石綿障害予防規則第3条および大気汚染防止法第18条の15に基づく改修工事の事前調査

(2) 事前調査の方法

厚生労働省・環境省「建築物等の改修等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」の方法による

(3) 工事の名称および概要

工事の名称：出羽庄内国際村改修工事

概要：出羽庄内国際村1階の常設展示室(1)、常設展示室(2)、テーマ展示室、プレイゾーンと2階の調理実習室の改修工事

(4) 事前調査の発注者

氏名（会社名）：キャド・キャム株式会社

住所：山形県鶴岡市大宝寺字日本国 378-12

(5) 調査対象建築物

建築名称：出羽庄内国際村

所在地：山形県鶴岡市伊勢原町 8-32

新築工事の着工日：－

構造：RC造

（準）防火地域：建築基準法第22条区域

（準）耐火建築物：－

延床面積（㎡）：3,199

地上階：2 地下階：0

工事面積（㎡）：703 用途：公共施設

(6) 調査者および分析調査者

調査者氏名：野村昌道

調査者所属：株式会社理研分析センター

調査者資格：一般建築物石綿含有建材調査者

講習機関：一般社団法人日本環境衛生センター

登録番号：第19021083号

調査者氏名：志田匡

調査者所属：株式会社理研分析センター

調査者資格：一般建築物石綿含有建材調査者

講習機関：一般社団法人新潟県労働衛生医学協会

登録番号：第729号

分析調査者氏名：本間亘

調査者所属：株式会社理研分析センター

分析調査者資格：公益社団法人日本作業環境測定協会

評価区分1：JIS A 1481-1 合格 認定 NO.2309 合 0243

(7) 調査概要

①設計図書等文書を確認する方法

平面図、仕上表、内部仕上表

②製品を特定し、その製品のメーカーによる石綿等の使用の有無に関する証明や成分情報等と照合する方法

常設展示室(1)の壁仕上 1 と天井仕上 1 の石膏ボードは添付資料 4 より裏面記載の認定番号を照合

③目視により確認する方法

実施日：2024 年 9 月 10 日

④目視しないと調査できない場所であって、解体等が始まる前に確認できなかった場所なし

⑤事前調査終了日

2024 年 9 月 21 日

(8) 備考

本事前調査の対象となる建材は、裏面確認、採取分析にて石綿含有の有無を確認しているものと、みなし含有にしている箇所があります。

詳細については下記の 2. 事前調査の結果をご確認ください。

また、目視調査にて石綿不含有と確認した根拠について、石膏ボードは添付資料 4、ビニルクロスは添付資料 5 をご確認ください。

本報告書に記載がなく、「木材、金属、石、ガラス等のみで構成されているもの、畳、電球等の石綿等が含まれていないことが明らかなもの」以外の建材を確認した場合には、

①分析調査による方法、②調査対象材料について、製品を特定し、その製品のメーカーによる石綿等の使用の有無に関する証明や成分情報と照合する方法、③調査対象について、製品を特定し、その製造年月日が平成 18 年 9 月 1 日以降（使用禁止が猶予されていた特定の施設で使用するガasket又はグラウンドバッキンにあつては、使用禁止となった日以降）であることを確認する方法のいずれかの方法により石綿の含有を確認する、または石綿含有建材としてみなし含有として下さい。

2. 事前調査の結果

(1) 石綿含有建材の種類、使用箇所

階	部屋名	部屋 No.	建材 No.	部位	施行建材名	層の 有無	建材区分	判定方法	石綿 含有	備考
1	常設 展示 室(1)	1	1	床下地	RC					
			2	床仕上	Pタイル	有	成形板等	分析	有	報告書No. [HAG21270-49463]
			3	巾木	ソフト巾木	有	成形板等	みなし含有	有	接着剤も含めみなし含有
			4	壁下地1	石膏ボード	有	成形板等	みなし含有	有	
			5	壁下地2	石膏ボード	有	成形板等	目視調査	無	裏面調査の結果石綿不含有 不燃番号[第11199]
			6	壁仕上	ビニルクロス	有	成形板等	目視調査	無	裏面調査の結果石綿不含有
			7	廻り縁	-					
			8	天井下地1	石膏ボード	有	成形板等	みなし含有	有	パテも含めみなし含有
			9	天井下地2	石膏ボード	有	成形板等	目視調査	無	裏面調査の結果石綿不含有 不燃番号[第11499]
			10	天井仕上	ビニルクロス	有	成形板等	目視調査	無	裏面調査の結果石綿不含有
1	常設 展示 室(2)	2	1	床下地	RC					
			2	床仕上	Pタイル	有	成形板等	分析	有	報告書No. [HAG21270-49464]
			3	巾木	木					
			4	壁下地	石膏ボード	有	成形板等	みなし含有	有	
			5	壁仕上	ビニルクロス	有	成形板等	目視調査	無	裏面調査の結果石綿不含有
			6	廻り縁	-					
			7	天井下地	ステンレスメッシュ					
			8	天井仕上	-					
			9	スロープ部 床仕上	ノンスリップシート	有	成形板等	みなし含有	有	接着剤も含めみなし含有
1	テーマ 展示 室	3	1	床下地	RC					
			2	床仕上	タイルカーペット	有	成形板等	分析	有	報告書No. [HAG21270-49465]
			3	巾木	木					
			4	壁下地	石膏ボード	有	成形板等	みなし含有	有	
			5	壁仕上	ビニルクロス	有	成形板等	目視調査	無	裏面調査の結果石綿不含有
			6	廻り縁	-					
			7	天井下地	ステンレスメッシュ					
			8	天井仕上	-					
1	プレイ ゾーン	4	1	床下地	RC					
			2	床仕上	Pタイル	有	成形板等	分析	有	報告書No. [HAG21270-49466]
			3	巾木	木					
			4	壁仕上1	石膏ボード	有	成形板等	みなし含有	有	
			5	壁仕上2	ベニヤ合板					
			6	壁仕上	ビニルクロス	有	成形板等	目視調査	無	裏面調査の結果石綿不含有
			7	廻り縁	-					
			8	天井下地	ステンレスメッシュ					
			9	天井仕上	-					
1	調理 実習 室	5	1	床下地	RC					
			2	床仕上	長尺塩ビシート	有	成形板等	分析	無	報告書No. [HAG21270-49462]
			3	巾木	ソフト巾木	有	成形板等	みなし含有	有	接着剤も含めみなし含有
			4	壁下地	石膏ボード	有	成形板等	みなし含有	有	
			5	壁仕上	ビニルクロス	有	成形板等	目視調査	無	裏面調査の結果石綿不含有
			6	廻り縁	-					
			7	天井下地	石膏ボード	有	成形板等	分析	無	報告書No. [HAG21270-49461]
			8	天井仕上	岩綿吸音板	有	成形板等	分析	無	同上

石綿含有建材を表します。

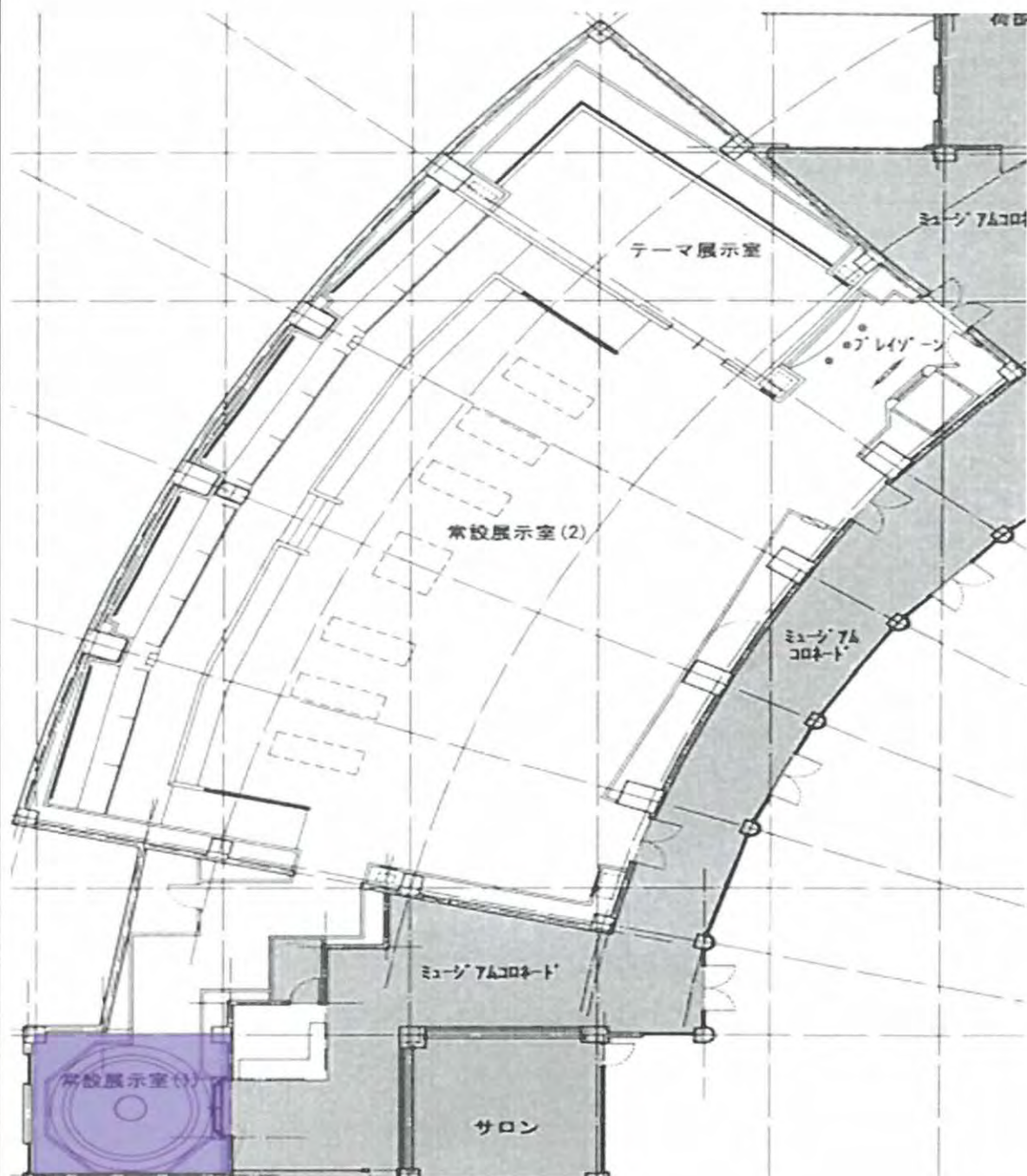
3. 石綿含有建材の施工状況

階	1	施設名	出羽庄内国際村	
				
建材名称	部位	部屋番号	施工箇所	備考
P タイル	床	1		分析により石綿含有
P タイル	床	2		分析により石綿含有
ノンスリップシート	床	2		スロープ部、みなし含有
タイルカーペット	床	3		分析により石綿含有
P タイル	床	4		分析により石綿含有

階	1	施設名	出羽庄内国際村		
---	---	-----	---------	--	--

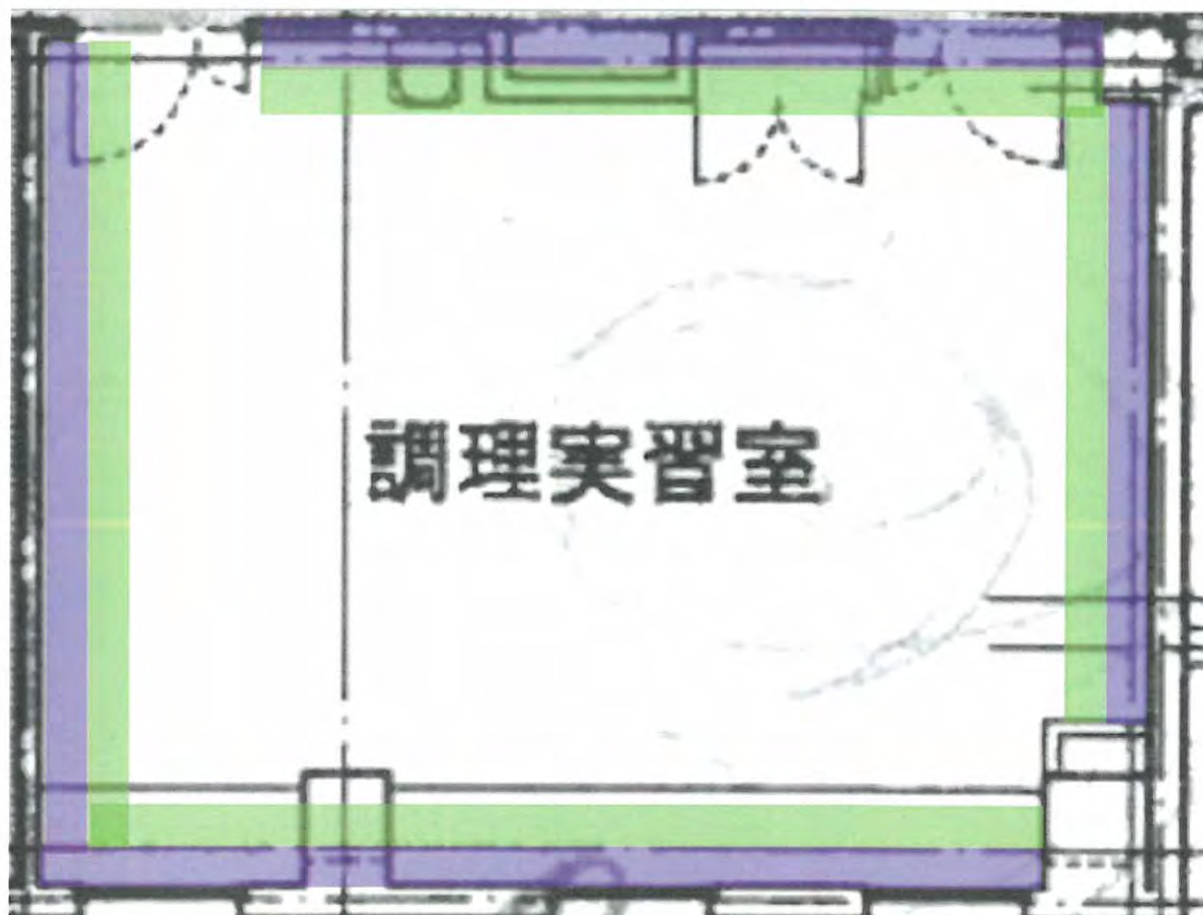
建材名称	部位	部屋番号	施工箇所	備考
石膏ボード	壁	1		みなし含有
ソフト巾木	巾木	1		みなし含有
石膏ボード	壁	2		みなし含有
石膏ボード	壁	3		みなし含有
石膏ボード	壁	4		みなし含有

階	1	施設名	出羽庄内国際村
---	---	-----	---------



建材名称	部位	部屋番号	施工箇所	備考
石膏ボード	天井	1		パテも含めみなし含有

階	2	施設名	出羽庄内国際村
---	---	-----	---------



建材名称	部位	部屋番号	施工箇所	備考
石膏ボード	壁	5		みなし含有
ソフト巾木	巾木	5		みなし含有

4. 調査対象建築物の周辺図

名称： 出羽庄内国際村

住所： 山形県鶴岡市伊勢原町 8-32

周辺図



出典：国土地理院の空中写真（2016 年撮影）を加工して作成

5.石綿（アスベスト）の関係法規について

石綿（アスベスト）に関係する法規や通達の一部を以下に記載します。

年	法規、通達	概要
昭和 50 年 (1975 年)	「特定化学物質障害予防規則（特化則）」改正	石綿 5%超対象、取扱い作業も対象、石綿等の吹付け作業の原則禁止、特定化学物質等作業主任者の選任、作業の記録、特殊検診の実施、掲示等
平成元年 (1989 年)	「大気汚染防止法（大防法）・同施行令・同施行規則」の改正	石綿を特定粉じんとし、特定粉じん発生施設の届出、石綿製品製造／加工工場の敷地境界基準を 10 本/リットルと規定
平成 3 年 (1991 年)	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（廃棄物処理法）の改正	特別管理産業廃棄物として「廃石綿等」を新たに制定。吹付け石綿、石綿含有保温材等の石綿含有廃棄物が該当
平成 7 年 (1995 年)	「労働安全衛生法施行令」の改正	アモサイト（茶石綿）、クロシドライト（青石綿）の製造等禁止
平成 7 年 (1995 年)	「労働安全衛生規則」の改正	吹付け石綿除去作業の事前届出
平成 7 年 (1995 年)	「特定化学物質障害予防規則（特化則）」改正	石綿 1%超まで対象が拡大、吹付け石綿除去場所の隔離、呼吸用保護具、保護衣の使用
平成 16 年 (2004 年)	「労働安全衛生法施行令」の改正	石綿含有建材、摩擦材、接着剤等 10 品目が製造等禁止
平成 17 年 (2005 年)	「石綿障害予防規則（石綿則）」の制定（施行期日 2005 年 7 月 1 日）	特定化学物質等障害予防規則から、石綿関連を分離し、単独の規制である石綿障害予防規則を制定。解体・改修での規制（届出、特別教育、石綿作業主任者等）を追加
平成 18 年 (2006 年)	「労働安全衛生法施行令」の改正（施行期日 2006 年 9 月 1 日）	石綿 0.1 重量%超の製品の全面禁止（一部猶予措置あり）
平成 18 年 (2006 年)	「石綿障害予防規則（石綿則）」の改正（施行期日 2006 年 9 月 1 日）	規制対象を石綿 0.1 重量%超に拡大一定条件下での封じ込め、囲い込み作業に対する規制の強化等
平成 18 年 (2006 年)	「廃棄物処理法」の改正（施行期日 2006 年 10 月 1 日）	石綿 0.1 重量%超を含有する廃棄物を石綿含有廃棄物と定義。また、無害化処理認定制度が発足（施行期日 2006 年 8 月 9 日）
平成 18 年 (2006 年)	石綿障害予防規則第 3 条第 2 項の規定による石綿等の使用の有無の分析調査の徹底等について	分析調査の対象をクリソタイル（白石綿）等の主要 3 種類に限定することなく、トレモライト等を含む 6 種類すべての種類の石綿とする。
平成 20 年 (2008 年)	「石綿障害予防規則（石綿則）」等の一部を改正する省令等（施行期日 2009 年 4 月 1 日）	事前調査の結果の掲示 隔離の措置を講ずべき作業範囲の拡大、隔離の措置等
平成 24 年 (2012 年)	「労働安全衛生法施行令」等の一部を改正する政令（施行期日 2012 年 3 月 1 日）	石綿 0.1 重量%超の製品の製造等禁止の猶予措置を撤廃

平成 25 年 (2013 年)	「大気汚染防止法（大防法）」の一部改正（施行期日 2014 年 6 月 1 日）	届出義務者を発注者に変更、解体等工事の事前調査及び説明の義務化、作業基準の改正
平成 26 年 (2014 年)	「石綿障害予防規則（石綿則）」の一部を改正する省令（施行期日 2014 年 6 月 1 日）	集じん・排気装置の排気口からの石綿漏洩の有無の点検、作業場前室の負圧状態の点検、損傷や劣化等で石綿粉じん発散の恐れがある場合の保温材等の除去等の対応
年	法規、通達	概要
令和 2 年 (2020 年)	「大気汚染防止法（大防法）」及び「石綿障害予防規則（石綿則）」の一部改正（施行期日 2021 年 4 月 1 日・2022 年 4 月 1 日・2023 年 10 月 1 日）	規制対象をすべての石綿含有建材へ拡大（レベル 3 建材の規制対象の追加）（2021 年 4 月 1 日施行）、事前調査方法の変更（図面及び目視による調査の義務付け）（2021 年 4 月 1 日施行）、事前調査結果の記録等の作成・保存の義務化（2021 年 4 月 1 日施行）、直接罰の創設（2021 年 4 月 1 日施行）、事前調査結果の報告制度の開始（2022 年 4 月 1 日施行）、有資格者による事前調査実施の義務付け（2023 年 10 月 1 日施行）

6.石綿含有建材の分類について

石綿含有建材の種類、レベル、発じん性を以下に記載します。

建材の種類	石綿含有吹付け材 (レベル 1)	石綿含有保温材等 (レベル 2)	石綿含有成形板等 (レベル 3)	石綿含有仕上塗材 (レベル 3)
対応石綿含有建材	①吹付け石綿 ②石綿含有吹付けロックウール(乾式) ③湿式石綿吹付け材(石綿含有吹付けロックウール(湿式)) ④石綿含有吹付けパーミキュライト ⑤石綿含有吹付けパーライト	【石綿含有耐火被覆材】 ①耐火被覆板 ②けい酸カルシウム板第 2 種 【石綿含有断熱材】 ①屋根用折板裏石綿断熱材 ②煙突用石綿断熱材 【石綿含有保温材】 ①石綿保温材 ②けいそう土保温材 ③石綿含有けい酸カルシウム保温材 ④パーミキュライト保温材 ⑤パーライト保温材 ⑥不定形保温材(水練り保温材)	①外壁・軒天 スレートボード、スレート波板、窯業系サイディング、押出成形セメント板、けい酸カルシウム板第 1 種 ②屋根 スレート波板、住宅屋根用化粧スレート ③内壁・天井 スレートボード、スラグせっこう板、パーライト板、パルプセメント板、けい酸カルシウム板第 1 種、せっこうボード、ロックウール、吸音天井板、ソフト巾木 ④床 ビニル床タイル、長尺塩ビシート、フリーアクセスフロア材 ⑤煙突 セメント円筒 ⑥その他 セメント管、ジョイントシート、繊維品、パッキン	①建築用仕上塗材(吹付けパーミキュライト、吹付けパーライトは除く) ②建築用下地調整塗材 ^{注)}
発じん性	著しく高い	高い	比較的低い	比較的低い

注) 石綿を含有する建築用下地調整塗材は、法令上は石綿含有成形板等の作業基準が適用されるが、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」では仕上塗材として区分しています。

添付資料 1. 石綿分析試験結果報告書

石綿分析試験結果報告書

報告書番号 HAG21270-49461

令和6年9月17日

キャド・キヤム株式会社 殿

株式会社 物理分析センター
代表取締役 菅原 幸司
〒997-0013 山形県鶴岡市道形町18-17
TEL:0235-24-4427 FAX:0235-24-4429

ご依頼を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

- 【 件 名 】 出羽庄内国際村改修工事に係る石綿含有建材事前調査
【 試 料 名 称 】 岩綿吸音板+石膏ボード
【建物名称、採取箇所等】 出羽庄内国際村 調理実習室 天井
【 採 取 場 所 住 所 】 山形県鶴岡市伊勢原町8-32
【 採 取 日 】 令和6年9月10日 【 採 取 者 】 (株)物理分析センター 野村昌道、志田匡
【 分 析 日 】 令和6年9月12日
【 分 析 方 法 】 JIS A 1481-1(2016)
【分析者及び講習機関等】 本間 亘 (公社)日本作業環境測定協会(評価区分1:JIS A 1481-1 合格 認定No. 2309合0243)
【 前 処 理 方 法 】 粉碎、灰化、酸処理

定性分析結果(推定石綿質量分率)								
層	色	比率	クリソタイル	アモサイト	クロストライト	トレモライト	アキチライト	アンソファイト
1	乳白	5%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
2	薄灰	65%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
3	茶	5%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
4	白	20%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
5	灰	5%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出

外観写真



石綿の有無	無
備考) 特になし	

※「推定石綿質量分率」の報告区分についてはJIS A 1481-1に基づく。
※「推定石綿質量分率」に検出と記載がある場合は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出されたことを示す。
※層構造、層の色、層数及び比率は、入手した試料について、分析者が目視で判断したものであるため、実際(採取現場やそのものの建材)とは異なる場合がある。
※層構造が特定できない試料に関しては1層扱いとして結果を示す。
※石綿が無検出の場合、外観写真のみを添付し、拡大写真は添付しない。

石綿分析試験結果報告書

報告書番号 HAG21270-49462

令和6年9月17日

キャド・キャム株式会社 殿

株式会社 理研分析センター
代表取締役 菅原 幸司
〒997-0013 山形県鶴岡市道形町18-17
TEL:0235-24-4427 FAX:0235-24-4429

ご依頼を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

- 【 件 名 】 出羽庄内国際村改修工事に係る石綿含有建材事前調査
【 試 料 名 称 】 長尺シート
【建物名称、採取箇所等】 出羽庄内国際村 調理実習室 床
【 採 取 場 所 住 所 】 山形県鶴岡市伊勢原町8-32
【 採 取 日 】 令和6年9月10日 【 採 取 者 】 株式会社 理研分析センター 野村昌道、志田匡
【 分 析 日 】 令和6年9月13日
【 分 析 方 法 】 JIS A 1481-1(2016)
【分析者及び講習機関等】 本間 亘 (公社)日本作業環境測定協会(評価区分1:JIS A 1481-1 合格 認定No. 2309合0243)
【 前 処 理 方 法 】 粉碎、灰化、酸処理

定性分析結果(推定石綿質量分率)								
層	色	比率	クワライト	アモサイト	クロシタイト	トレモライト	アキチノライト	アンソフィライト
1	薄灰	5%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
2	白	80%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
3	灰	5%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
4	黄	5%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
5	薄灰	5%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出

外観写真



石綿の有無	無
備考) 特になし	

※「推定石綿質量分率」の報告区分についてはJIS A 1481-1に基づく。
※「推定石綿質量分率」に検出と記載がある場合は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出されたことを示す。
※層構造、層の色、層数及び比率は、入手した試料について、分析者が目視で判断したものであるため、実際(採取現場やそのものの建材)とは異なる場合がある。
※層構造が特定できない試料に関しては1層扱いとして結果を示す。
※石綿が無検出の場合、外観写真のみを添付し、拡大写真は添付しない。

石綿分析試験結果報告書

報告書番号 HAG21270-49463

令和6年9月17日

キャド・キャム株式会社 殿

株式会社 理研分析センター
代表取締役 菅原 幸司
〒997-0013 山形県鶴岡市道形町18-17
TEL:0235-24-4427 FAX:0235-24-4429

ご依頼を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

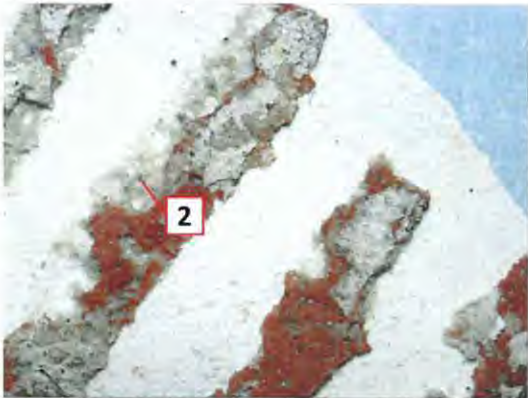
- 【 件 名 】 出羽庄内国際村改修工事に係る石綿含有建材事前調査
【 試 料 名 称 】 Pタイル
【建物名称、採取箇所等】 出羽庄内国際村 常設展示室(1) 床
【 採 取 場 所 住 所 】 山形県鶴岡市伊勢原町8-32
【 採 取 日 】 令和6年9月10日 【 採 取 者 】 株式会社 理研分析センター 野村昌道、志田匡
【 分 析 日 】 令和6年9月13日
【 分 析 方 法 】 JIS A 1481-1(2016)
【分析者及び講習機関等】 本間 亘 (公社)日本作業環境測定協会(評価区分1:JIS A 1481-1 合格 認定No. 2309合0243)
【 前 処 理 方 法 】 粉碎、灰化、酸処理

定性分析結果(推定石綿質量分率)								
層	色	比率	クワタール	アモサイト	クロシドライト	トレモライト	アキチノライト	アンソフィライト
1	白	85%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
2	灰	5%	0.1%-5%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
3	茶褐	5%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
4	薄灰	5%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出

外観写真



拡大写真



※石綿検出層を印で示す

石綿の有無	有
備考) ・拡大写真は試料の裏側から撮影しています。	

※「推定石綿質量分率」の報告区分についてはJIS A 1481-1に基づく。
※「推定石綿質量分率」に検出と記載がある場合は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出されたことを示す。
※層構造、層の色、層数及び比率は、入手した試料について、分析者が目視で判断したものであるため、実際(採取現場やそのものの建材)とは異なる場合がある。
※層構造が特定できない試料に関しては1層扱いとして結果を示す。
※石綿が無検出の場合、外観写真のみを添付し、拡大写真は添付しない。

石綿分析試験結果報告書

報告書番号 HAG21270-49464

令和6年9月17日

キャド・キヤム株式会社 殿

株式会社 理研分析センター
代表取締役 菅原 幸司
〒997-0013 山形県鶴岡市道形町18-17
TEL:0235-24-4427 FAX:0235-24-4429

ご依頼を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

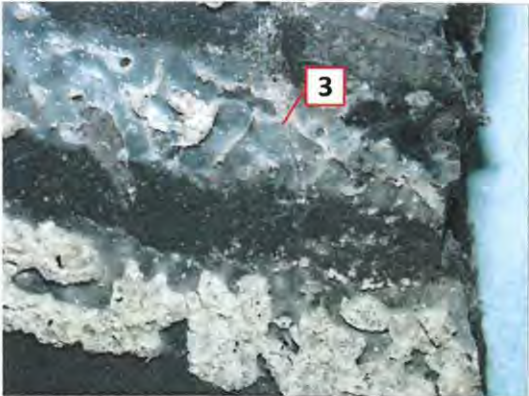
- 【 件 名 】 出羽庄内国際村改修工事に係る石綿含有建材事前調査
【 試 料 名 称 】 Pタイル
【建物名称、採取箇所等】 出羽庄内国際村 常設展示室(2) 床
【 採 取 場 所 住 所 】 山形県鶴岡市伊勢原町8-32
【 採 取 日 】 令和6年9月10日 【 採 取 者 】 (株)理研分析センター 野村昌道、志田匡
【 分 析 日 】 令和6年9月13日
【 分 析 方 法 】 JIS A 1481-1(2016)
【分析者及び講習機関等】 本間 亘 (公社)日本作業環境測定協会(評価区分1:JIS A 1481-1 合格 認定No. 2309合0243)
【 前 処 理 方 法 】 粉碎、灰化、酸処理

定性分析結果(推定石綿質量分率)								
層	色	比率	クリソタイル	アモサイト	クロストライト	トレモイト	アケナライト	アンソファイト
1	乳白	5%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
2	黒灰	85%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
3	薄灰	5%	0.1%-5%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
4	薄茶	5%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出

外観写真



拡大写真



※石綿検出層を印で示す

石綿の有無	有
備考) ・拡大写真は試料の裏側から撮影しています。	

※「推定石綿質量分率」の報告区分についてはJIS A 1481-1に基づく。
※「推定石綿質量分率」に検出と記載がある場合は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出されたことを示す。
※層構造、層の色、層数及び比率は、入手した試料について、分析者が目視で判断したものであるため、実際(採取現場やそのものの建材)とは異なる場合がある。
※層構造が特定できない試料に関しては1層扱いとして結果を示す。
※石綿が無検出の場合、外観写真のみを添付し、拡大写真は添付しない。

石綿分析試験結果報告書

報告書番号 HAG21270-49465

令和6年9月17日

キヤド・キヤム株式会社 殿

株式会社 榊理研分析センター
代表取締役 菅原 幸司
〒997-0013 山形県鶴岡市道形町18-17
TEL:0235-24-4427 FAX:0235-24-4429

ご依頼を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

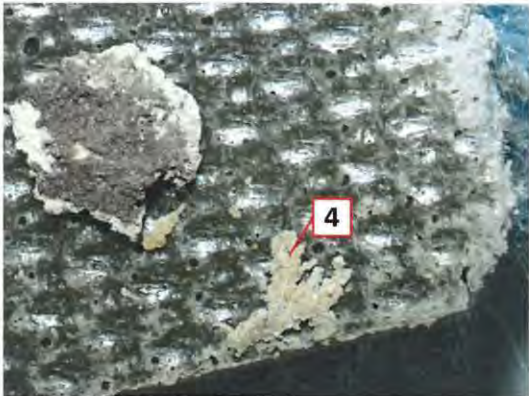
- 【 件 名 】 出羽庄内国際村改修工事に係る石綿含有建材事前調査
- 【 試 料 名 称 】 タイルカーペット
- 【建物名称、採取箇所等】 出羽庄内国際村 テーマ展示室 床
- 【 採 取 場 所 住 所 】 山形県鶴岡市伊勢原町8-32
- 【 採 取 日 】 令和6年9月10日 【 採 取 者 】 榊理研分析センター 野村昌道、志田匡
- 【 分 析 日 】 令和6年9月13日
- 【 分 析 方 法 】 JIS A 1481-1(2016)
- 【分析者及び講習機関等】 本間 亘 (公社)日本作業環境測定協会(評価区分1:JIS A 1481-1 合格 認定No. 2309合0243)
- 【 前 処 理 方 法 】 粉碎、灰化、酸処理

定性分析結果(推定石綿質量分率)								
層	色	比率	クリソタイル	アモサイト	クロシトライト	トレモライト	アケチライト	アンソフィライト
1	青	50%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
2	灰	40%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
3	黒灰	5%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
4	薄茶, 赤褐	5%	0.1%-5%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出

外観写真



拡大写真



※石綿検出層を印で示す

石綿の有無	有
備考) ・拡大写真は試料の裏側から撮影しています。	

※「推定石綿質量分率」の報告区分についてはJIS A 1481-1に基づく。
※「推定石綿質量分率」に検出と記載がある場合は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出されたことを示す。
※層構造、層の色、層数及び比率は、入手した試料について、分析者が目視で判断したものであるため、実際(採取現場やそのものの建材)とは異なる場合がある。
※層構造が特定できない試料に関しては1層扱いとして結果を示す。
※石綿が無検出の場合、外観写真のみを添付し、拡大写真は添付しない。

石綿分析試験結果報告書

報告書番号 HAG21270-49466

令和6年9月17日

キャド・キャム株式会社 殿

株式会社 榊原分析センター
代表取締役 菅原 幸司
〒997-0013 山形県鶴岡市道形町18-17
TEL:0235-24-4427 FAX:0235-24-4429

ご依頼を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

- 【 件 名 】 出羽庄内国際村改修工事に係る石綿含有建材事前調査
【 試 料 名 称 】 Pタイル
【建物名称、採取箇所等】 出羽庄内国際村 プレイゾーン 床
【 採 取 場 所 住 所 】 山形県鶴岡市伊勢原町8-32
【 採 取 日 】 令和6年9月10日 【 採 取 者 】 榊原分析センター 野村昌道、志田匡
【 分 析 日 】 令和6年9月13日
【 分 析 方 法 】 JIS A 1481-1(2016)
【分析者及び講習機関等】 本間 亘 (公社)日本作業環境測定協会(評価区分1:JIS A 1481-1 合格 認定No. 2309合0243)
【 前 処 理 方 法 】 粉碎、灰化、酸処理

定性分析結果(推定石綿質量分率)								
層	色	比率	クリソタイル	アモサイト	クロントライト	トモライト	アキライト	アンソファイト
1	橙	90%	0.1%-5%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
2	灰	5%	0.1%-5%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出
3	薄灰	5%	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出	無検出

外観写真



拡大写真



※石綿検出層を印で示す

石綿の有無	有
備考) ・拡大写真は試料の裏側から撮影しています。	

※「推定石綿質量分率」の報告区分についてはJIS A 1481-1に基づく。
※「推定石綿質量分率」に検出と記載がある場合は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出されたことを示す。
※層構造、層の色、層数及び比率は、入手した試料について、分析者が目視で判断したものであるため、実際(採取現場やそのものの建材)とは異なる場合がある。
※層構造が特定できない試料に関しては1層扱いとして結果を示す。
※石綿が無検出の場合、外観写真のみを添付し、拡大写真は添付しない。

添付資料 2. 建材の施工状況

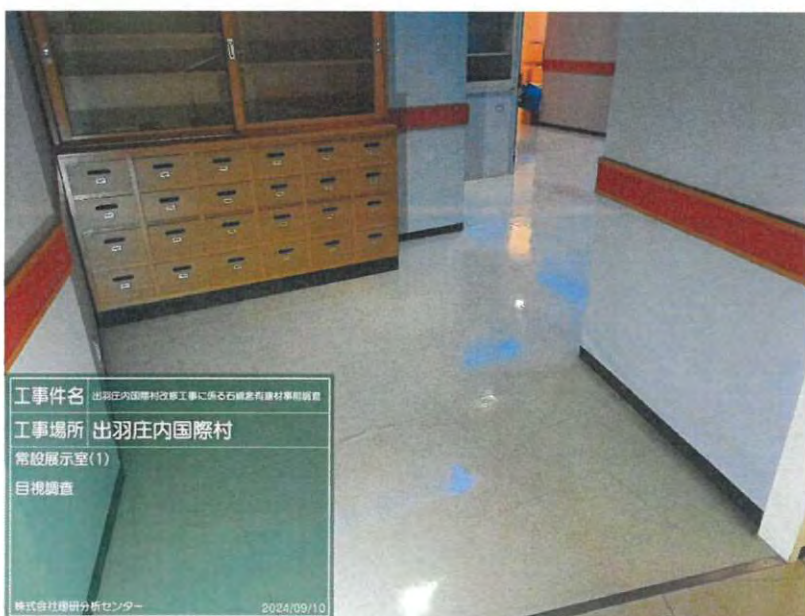


工事件名	出羽庄内国際村改修工事に係る石鏡堂有線材事前調査
工事場所	出羽庄内国際村
常設展示室(1)	
目視調査	
株式会社環境分析センター	2024/09/10

工事場所: 出羽庄内国際村

常設展示室(1)

目視調査



工事件名	出羽庄内国際村改修工事に係る石鏡堂有線材事前調査
工事場所	出羽庄内国際村
常設展示室(1)	
目視調査	
株式会社環境分析センター	2024/09/10

工事場所: 出羽庄内国際村

常設展示室(1)

目視調査



工事件名	出羽庄内国際村改修工事に係る石鏡堂有線材事前調査
工事場所	出羽庄内国際村
常設展示室(1)	
目視調査	
株式会社環境分析センター	2024/09/10

工事場所: 出羽庄内国際村

常設展示室(1)

目視調査



工事件名 出羽庄内国際村改修工事に係る石綿含有建材事前調査
 工事場所 出羽庄内国際村
 常設展示室(2)
 目視調査
 株式会社環境分析センター 2024/09/10

工事場所: 出羽庄内国際村

常設展示室(2)

目視調査



工事件名 出羽庄内国際村改修工事に係る石綿含有建材事前調査
 工事場所 出羽庄内国際村
 常設展示室(2)
 目視調査
 株式会社環境分析センター 2024/09/10

工事場所: 出羽庄内国際村

常設展示室(2)

目視調査



工事件名 出羽庄内国際村改修工事に係る石綿含有建材事前調査
 工事場所 出羽庄内国際村
 常設展示室(2)
 目視調査
 株式会社環境分析センター 2024/09/10

工事場所: 出羽庄内国際村

常設展示室(2)

目視調査



工事場所: 出羽庄内国際村

常設展示室(2)

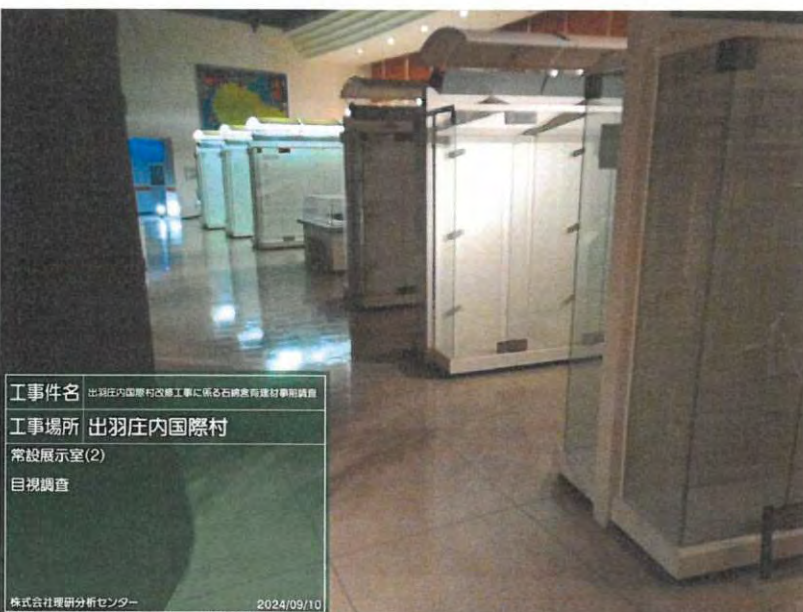
目視調査



工事場所: 出羽庄内国際村

常設展示室(2)

目視調査



工事場所: 出羽庄内国際村

常設展示室(2)

目視調査



工事場所: 出羽庄内国際村

テーマ展示室

目視調査



工事場所: 出羽庄内国際村

テーマ展示室

目視調査



工事場所: 出羽庄内国際村

テーマ展示室

目視調査



工事場所: 出羽庄内国際村

プレイゾーン

目視調査



工事場所: 出羽庄内国際村

プレイゾーン

目視調査



工事場所: 出羽庄内国際村

プレイゾーン倉庫

目視調査

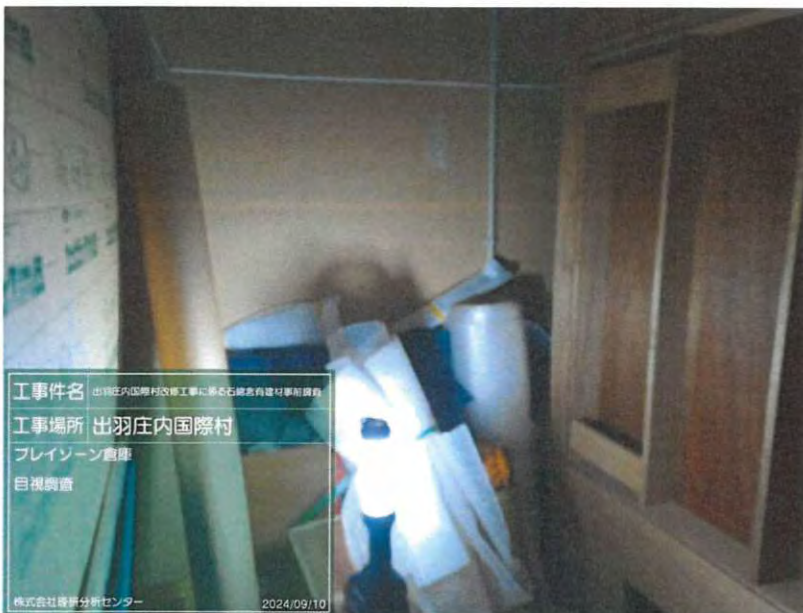


工事件名 出羽庄内国際村改修工事に係る石綿含有建材事前調査
工事場所 出羽庄内国際村
プレイゾーン倉庫
目視調査
株式会社環境分析センター 2024/09/10

工事場所: 出羽庄内国際村

プレイゾーン倉庫

目視調査



工事件名 出羽庄内国際村改修工事に係る石綿含有建材事前調査
工事場所 出羽庄内国際村
プレイゾーン倉庫
目視調査
株式会社環境分析センター 2024/09/10

工事場所: 出羽庄内国際村

プレイゾーン倉庫

目視調査



工事件名 出羽庄内国際村改修工事に係る石綿含有建材事前調査
工事場所 出羽庄内国際村
プレイゾーン倉庫
目視調査
株式会社環境分析センター 2024/09/10

工事場所: 出羽庄内国際村

プレイゾーン倉庫

目視調査



工事場所: 出羽庄内国際村

調理実習室

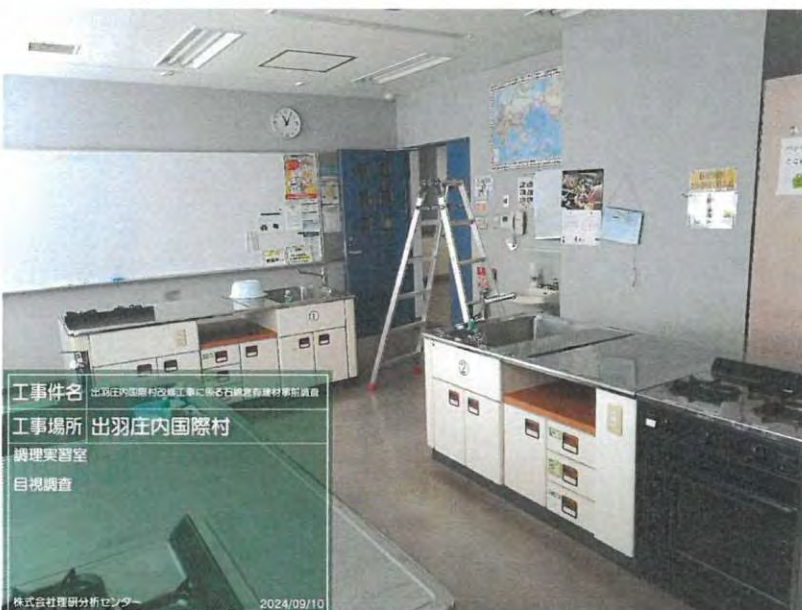
目視調査



工事場所: 出羽庄内国際村

調理実習室

目視調査



工事場所: 出羽庄内国際村

調理実習室

目視調査



工事場所: 出羽庄内国際村

常設展示室(1)

Pタイル

採取前



工事場所: 出羽庄内国際村

常設展示室(1)

Pタイル

採取後



工事場所: 出羽庄内国際村

常設展示室(2)

Pタイル

採取前

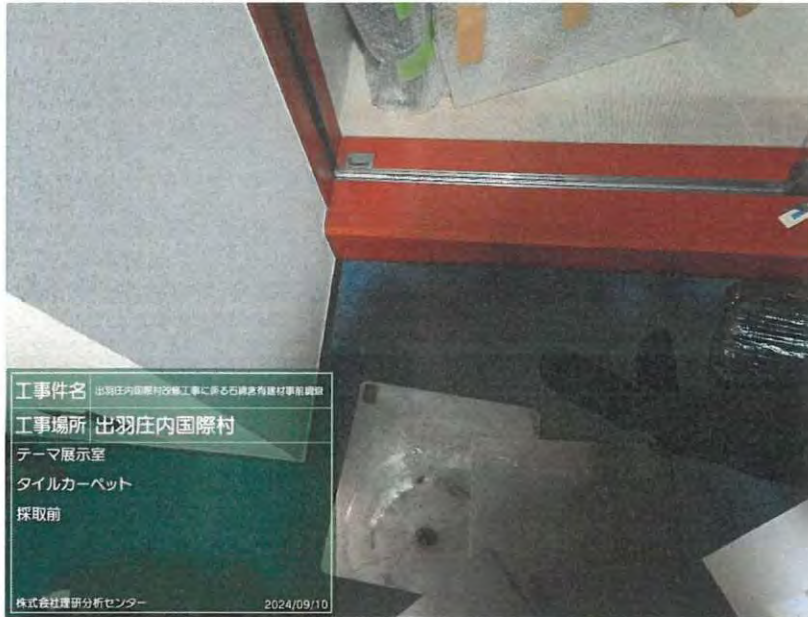


工事場所: 出羽庄内国際村

常設展示室(2)

Pタイル

採取後



工事件名 出羽庄内国際村改修工事に係る石綿含有建材取組調査
工事場所 出羽庄内国際村
テーマ展示室
タイルカーペット
採取前
株式会社環境分析センター 2024/09/10

工事場所: 出羽庄内国際村

テーマ展示室

タイルカーペット

採取前



工事件名 出羽庄内国際村改修工事に係る石綿含有建材取組調査
工事場所 出羽庄内国際村
テーマ展示室
タイルカーペット
採取後
株式会社環境分析センター 2024/09/10

工事場所: 出羽庄内国際村

テーマ展示室

タイルカーペット

採取後



工事場所: 出羽庄内国際村

プレイゾーン

Pタイル

採取前



工事場所: 出羽庄内国際村

プレイゾーン

Pタイル

採取後



工事場所: 出羽庄内国際村

調理実習室

岩綿吸音板+石膏ボード

採取前



工事場所: 出羽庄内国際村

調理実習室

岩綿吸音板+石膏ボード

採取後



工事場所: 出羽庄内国際村

調理実習室

長尺シート

採取前



工事場所: 出羽庄内国際村

調理実習室

長尺シート

採取後

添付資料 3. 国土交通省 経済産業省 石綿（アスベスト）含有建材データベース
アスベスト非含有建材

石綿（アスベスト）含有建材データベース

ホーム > 建材名（一般名）とは > アスベスト非含有建材

アスベスト非含有建材

建材名(一般名)とは

以下の建材は原材料に石綿（アスベスト）を必要としていません

- ▶ 合成高分子系ルーフィングシート
(JIS A 6008該当品)
- ▶ 粘土がわら
- ▶ 硬質塩化ビニル板
- ▶ 硬質塩化ビニル雨どい
- ▶ 樹脂サイディング
- ▶ テラゾタイル
- ▶ 火山性ガラス質複層板（V S ボード）
- ▶ パーティクルボード
- ▶ メラミン樹脂化粧板
- ▶ ポリエステル化粧合板
- ▶ オレフィン化粧合板
- ▶ 硬質ウレタンフォーム保温材
- ▶ グラスウール（吹込み用繊維質断熱材）
- ▶ ビーズ法ポリスチレンフォーム
- ▶ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材
- ▶ 建築用塗膜防水材（ウレタン防水）
- ▶ ポリカーボネート板（波板、中空板、折板）
- ▶ FRP（ガラス繊維強化プラスチック）
- ▶ 透湿防水シート
- ▶ 木質系セメント板
- ▶ 軽量気泡コンクリートパネル（ALCパネル）
- ▶ 繊維板（ハードボード、
インシュレーションボード、MDF）
- ▶ プリント合板
- ▶ 塩化ビニル化粧合板
- ▶ カラー塗装合板
- ▶ グラスウール（人造鉱物繊維保温材）
- ▶ セルローズファイバー
（吹込み用繊維質断熱材）
- ▶ ロックウール（吹込み用繊維質断熱材）
JIS A 9523
- ▶ 押出法ポリスチレンフォーム
- ▶ フェノールフォーム保温板

- ▶ 高性能フェノールフォーム保温板
- ▶ ロックウール（人造鉱物繊維保温材）
JIS A9504 ウール 保温板、保温帯、
フェルト、ブランケット、保温筒
- ▶ 浮き床用ロックウール緩衝材
（ロックウールボード）
- ▶ 稲わら畳床及び稲わらサンドイッチ畳床
- ▶ インシュレーションファイバーボード
サンドイッチ畳床
- ▶ コルクタイル
（天然コルクタイルコルクフローリング）
- ▶ 複合フローリング
- ▶ （複合フローリング）
- ▶ 防腐土台
- ▶ 防腐集成材
- ▶ 集成材
- ▶ ガラス
- ▶ 構造用軽量コンクリート骨材
（人工軽量骨材）（軽量コンクリート材料）
- ▶ 地盤改良材
- ▶ 建築用コンクリートブロック
- ▶ 視覚障害者用誘導ブロック
- ▶ 境界ブロック
- ▶ 皿形側溝
- ▶ L形ブロック
- ▶ 笠石、プランター
- ▶ 高発泡ポリエチレン系断熱材
- ▶ 住宅用ロックウール断熱材〔マット〕
（住宅用人工造鉱物繊維断熱材）JIS A 9521
- ▶ 屋上緑化植物栽培用ロックウール
（ロックウールベッドポット等）
- ▶ ポリスチレンフォームサンドイッチ畳床
- ▶ 建材畳床
- ▶ モザイクパーケット
- ▶ 防音直張りフローリング
- ▶ 床暖房用フローリング
- ▶ 防腐木材
- ▶ 合板
- ▶ 木製建具
- ▶ 建築用ガスケット
（サッシ用グレイジングガスケット、
気密ガスケット、目地ガスケット）
- ▶ セメント
- ▶ ガラス繊維補強セメント（GRC）
- ▶ 平板
- ▶ 車止めブロック
- ▶ U型蓋
- ▶ 階段ブロック
- ▶ 樹蓋
- ▶ ベンチ・スツール

添付資料 4. 吉野石膏株式会社 当社におけるアスベスト（石綿）含有商品について

平成18年 1月31日
吉野石膏株式会社

当社におけるアスベスト（石綿）含有商品について

1. 現在の商品について

現在当社ではアスベストを使用した石膏製品はございません。

2. 過去のアスベスト含有商品について

アスベストを含有する商品とその製造期間は下表の通りですが、これらアスベストを含有する商品の生産量の割合は全商品の1%程度であり、殆どの商品にはアスベストを使用しておりませんでした。

製品の区分 (防火材料認定番号)	商 品 名	厚 さ	アスベスト使用期間
アスベスト石膏積層板 9mm (不燃 第1013号)	不燃タイガーボード9 不燃ジブトーン	9mm	昭和47年7月 ～ 昭和54年5月
不燃石膏積層板 (不燃 第1004号)	不燃マーブルトーン		昭和54年6月 ～ 昭和61年8月
石膏吸音ボード (準不燃 第2006号)	準不燃 タイガートーン (不燃紙張り)	9mm	昭和45年7月 ～ 昭和54年5月
吸音用あなきせつこうボード (準不燃 第2019号)			昭和54年6月 ～ 昭和59年3月
化粧石膏吸音ボード (準不燃 第2010号) (準不燃 第2014号)	ニュータイガートーン (不燃紙張り)	9mm	昭和50年12月 ～ 昭和59年3月
ガラス繊維網入り石膏ボード	なし (耐火ウォールA及びB 専用)	15mm	昭和51年4月 ～ 昭和61年6月

備考(1) アスベスト石膏積層板と不燃石膏積層板はアスベストを吹き込んだ紙を表面側に使用して
いました。ボード1枚当りのアスベスト含有量は約1.5%です。

(2) 吸音ボード類はアスベスト紙を裏打ちに使用していた製品が該当します。
ボード1枚当りのアスベスト含有量は約1%です。

(3) 最下段のガラス繊維網入り石膏ボードは石膏中に約4.5%含有しています。

(4) アスベストの種類は全てクリソタイル（白石綿）です。

3. 判別方法について

①設計図書等に記載された防火材料認定番号、商品名、使用（建築）時期などから特定できる場合があります。

②製品の裏面に捺印された防火材料認定番号と製造日から特定することができます。

第2014号、第2019号及び第1004号は、アスベストを使用していない製品も同じ番号と
なる期間がありますので使用時期の特定が必要です。

③ガラス繊維網入り石膏ボードは、厚さが1.5mmで石膏中にガラス繊維の網が入った製品で裏面に
JISマーク又は不燃材料認定マーク（不燃第1008号）の無い製品が該当します。

4. アスベスト含有製品の健康への影響について

現在問題となっているアスベストによる健康被害は空気中に飛散したアスベストを吸引した結果発症したものです。一般的な使用下ではアスベストを含む石膏ボードからアスベストが空気中に飛散する恐れはないとされています。

但し、建替え工事や改修工事でアスベストを含む石膏ボードを解体する場合はアスベストの飛散に対する注意が必要です。

5. 解体時の留意点

アスベストを含む石膏ボードを解体する場合は粉塵が飛び散らない対策を施す必要があります。

アスベストを含む建材の解体工事に関する具体的な手順等は『非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針（有害物質含有等製品廃棄物の適性処理検討会）』や『建築物の解体等工事における石綿粉じんへのばく露防止マニュアル（建設業労働災害防止協会）』に記述されています。

6. アスベストを含む石膏ボード廃棄物（廃石膏ボード）の処理について

- 1) 解体工事等で発生したアスベストを含む廃石膏ボードは非飛散性アスベスト廃棄物となりますので、管理型処分場での処分が可能です。（特別管理産業廃棄物には該当しません。）
- 2) アスベストを含む廃棄物は熔融処理を行なった物以外はリサイクルできませんので、アスベストを含む廃石膏ボードはリサイクルできません。管理型処分場での処分を行なって下さい。

以上

添付資料 5. 石綿(アスベスト)含有建材の特徴

石綿（アスベスト）含有建材の特徴

建 材 名（一般名） （通 称）	石綿含有壁紙 般にメーカー名称が仕様書に記述されていた。「アスベスト壁紙」、又は総称して「不燃クロス」と呼ばれている。
規 格 等	・ JIS A 6921 壁紙
製造期間	・ 製造開始は、1969 年である。 ・ 製造終了は、1991 年である。
建材の特徴	○性質、寸法、形状など ・ 石綿含有壁紙は、アスベスト紙にビニルフィルムを合わせたもので、不燃材料としての大臣認定を取得したものである。 ・ 厚手の石綿含有壁紙は、その厚さに応じて表面に凹凸などの加工が可能である。 ・ ビニル壁紙（ビニルクロス）に比べ、色柄の種類は少ない。 ・ 1970 年から 1987 年まで、「アスベスト壁紙」、「無機質壁紙」などの呼称で製造されていた。（なお、1988 年以降、現在まで製造されている無機質壁紙の原反（原反とは、未加工の状態でロール状に成形されたものをいう。）は総て水酸化アルミニウム紙で、アスベストを含まない建材である。） ○主な施工部位、使われ方など ・ 石綿含有壁紙は、総て不燃材料として出荷されていた。 ・ 海式方式の壁に比べて、修繕、張替えが容易にでき経済的でもあることから多用されている。 ・ 建築基準法に基づく内装制限により「不燃材料」を要求される避難階段、通路、エレベータホール等の壁面、天井などに使用されている。住宅では、和室やユーティリティ等の火気使用室に使用されている頻度が高い。 ・ 他の建設用ボードに貼り合わせて使用されたこともある。 ・ 識別法の例 ① 1987 年以前竣工の物件では、ゼネコン、工務店等施工者の設計図書中の内装仕上表あるいは施工仕様書、住宅メーカーの施工仕様説明書等に、「無機質壁紙」、「不燃壁紙」、「不燃第 0005 号認定壁紙」、「アスベスト壁紙」等と記述されている。 ② 同じく 1987 年以前竣工の物件で、壁面の隅等に「不燃第 0005 号無機質壁紙」と記され、金色地に赤色で印刷された、3cm 四方のラベルが表示してある場合がある。 ③ 表面から目視では分りにくい。隅など部分的に一部の化粧層を剥がし、下地層がグレー色の場合はアスベスト原紙の可能性が高い。ただし、下地そのものが「石綿スレート」等の使用例もあるので、その場合は下地とも処理に注意を要する。 リフォーム（メンテナンス）関連 ・ 石綿含有壁紙は、表面をビニルフィルムとしているため日常的に水拭きが可能である。

添付資料 6. 調査者資格証及び分析者資格証

調査者資格証（写し）

調査者：株式会社理研分析センター 野村昌道

講習実施機関名称：一般財団法人 日本環境衛生センター

建築物石綿含有建材調査者の区： 一般

建築物石綿含有建材調査者講習修了証明書

野村 昌道 1978年5月31日 生

証明書番号 神奈川1 第19021083 号
修了年月日 2019年2月28日

☒ 建築物石綿含有建材調査者
☐ 特定建築物石綿含有建材調査者

建築物石綿含有建材調査者講習登録規定（平成30年
厚生労働省・国土交通省・環境省告示第1号）第2条
第2項の建築物石綿含有建材調査者講習を修了した
ことを証する。

2019年2月28日

一般財団法人日本環境衛生センター



調査者：株式会社理研分析センター 志田 匡

講習実施機関名称：一般財団法人 新潟県労働衛生医学協会

建築物石綿含有建材調査者の区分： 一般

一般建築物石綿含有建材調査者講習修了証明書

第 729号

交付日 令和 4年 9月22日

氏 名 志田 匡

生年月日 平成13年12月15日

住 所 山形県鶴岡市藤浪2-75-1-107

新潟労働局長登録講習機関
一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会 会長



The logo consists of the letters "JAWE" in a bold, sans-serif font, enclosed within a red oval border.

2309合0243 号

第17回
石綿分析技術評価事業
合格認定証

氏 名 本間 亘 殿

貴殿は、公益社団法人日本作業環境測定協会が実施した第
17回石綿分析技術評価事業の「評価区分1: JIS A 1481-1
による方法」において合格されましたのでここに認定いたします。

認定の有効期間
令和5年9月1日～令和7年8月31日の2年間

令和5年8月31日

公益社団法人 日本作業環境測定協会

会 長 清 水 英 佑

